

宮古広域公園（仮称）における民間活力による事業化検討について民間事業者等の皆様との対話による市場調査を実施します ～対話に関する募集要項（令和2年度）～

沖縄県では、県の振興計画である「沖縄21世紀ビジョン基本計画（平成24年5月）」等に基づき、宮古圏域における新たな県営公園として『宮古広域公園（仮称）』の整備事業に取り組んでいます。

平成25年度より「宮古広域公園（仮称）計画検討委員会」による検討を行い、「（仮称）宮古広域公園基本構想（平成26年12月）」を策定し、公園のテーマ（基本理念）として『マークヌ・オー・イム・パーク（宮古の青い海公園）』を定め、3つの目標像として『美しい海辺の景観や自然を守り育てる公園』、『海や海辺で多様なレクリエーションを提供する公園』、『海と結びついた生活や遊びを体験できる公園』を設定するとともに、事業予定地として宮古島市与那覇前浜地区を選定しました。

計画予定地は、約7kmに渡って『宮古ブルー』とも称される青い海と白い砂浜が続き、多くの観光客が訪れる宮古島市を代表する観光スポットとなっている前浜ビーチ、ビーチ背後の保安林指定がされている連続した樹林地、保安林背後のサトウキビ畑などの農地を含む、全体で約50haの区域です。

平成29年2月に「（仮称）宮古広域公園基本計画」、平成30年3月に「宮古広域公園（仮称）基本設計」をとりまとめ、現在、より多くの人々が訪れる魅力的な公園にするため、アイデアやノウハウを有する民間事業者等の皆様と連携した整備を検討しています。

令和元年度に実施した民間事業者の皆様との対話による市場調査では、官民連携による整備や管理・運営についてのアイデアを広くお聴きし、事業スキームを複数パターン検討しました。

そこで、本調査では過年度調査を踏まえ、**P-PFIやPFIなどのPPP手法で可能な限り広範囲で公園の整備及び管理を可能とする事業スキームを前提**として、民間事業者の皆様の実業参画可能性や公募条件等についてお聴きし、公募内容等に反映することを目的として、対話による市場調査を実施することとしました。

是非御参加いただきますよう御協力をお願いします。

1. 対話による市場調査の実施（申込制）

宮古広域公園（仮称）における民間活力による事業化検討のため、民間事業者の皆様の声をお聞かせ頂く機会として、対話型のヒアリングを行います。アイデア等の保護のため、対話は会社毎に個別で実施いたします。

（1）日時

令和3年1月13日（水）、14日（木）

または

令和3年1月12日（火）～令和3年1月29日（金）（土日祝を除く）

対話時間：30分程度

（お申込み後、各者個別に調整、実施させていただきます）

（2）方法、場所

宮古島市（沖縄県土木建築部宮古土木事務所）での対面による実施としますが、要望に応じて、東京都または那覇市（沖縄県庁施設）での対面、もしくはWebでの実施も可能です。※ 対話の日時・場所は、個別に調整・ご連絡させていただきます。

日時	方法・実施場所
1月13日（水）、1月14日（木）	【対面】宮古島市（宮古土木事務所）
1月12日（火）～1月29日（金） ※1月13日（水）、1月14日（木）を除く	【対面】東京都または那覇市（沖縄県庁施設） 【Web】Web会議システムによる遠隔対話

（3）対象者

宮古広域公園（仮称）の広範囲にわたる建設・運営において、代表企業となる可能性も含めて本事業への参画に関心を持つ法人又は法人のグループ。

※ 個人の方は対象になりません。

※公園や施設の維持管理事業やテナント出店に特化した事業者は本調査の対象としておりません。

（4）対話の内容

事前に、宮古広域公園（仮称）に関するアンケートにご回答いただいた上で、想定事業スキームに対するご意向、事業範囲へのご意見、事業性に関わる要素（事業範囲、駐車場、使用料等）のご確認、民間収益部分の機能や規模へのご提案、応募要件に関するご意見、新型コロナウイルス感染症の影響等本事業で想定されるリスク等々を対話にてお聴かせください。

※想定事業スキームの考え方については【資料3】民間活力導入の2つの考え方（案）をご覧ください。

（5）申込方法

参加を希望される方は【別紙1】個別対話参加申込書及び【別紙2】アンケート調査票に必要事項をご記入のうえ、「3. 申込先・連絡先」へEメールにて、御送付ください。

なお、件名は【対話参加申込み（事業者名）】としてください。

（6）申込期限

令和2年12月21日（月）まで

2. 留意事項

(1) 新型コロナウイルス感染拡大防止へのご協力（対面での対話参加の方）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、次の点にご協力をお願いします。

- ・ 対話参加者は1グループにつき2名までとし、当日はマスク着用を必須とします。
（Web対話の場合は参加人数の制限はありません）
- ・ 対話当日朝に検温を実施し、発熱がある場合は参加をお控えください。
- ・ 新型コロナウイルス接触確認アプリCOCOAのご利用をお願いします。

(2) 対話参加の取扱い

今回の対話は、宮古広域公園（仮称）における民間活力導入による整備や管理・運営の可能性について沖縄県が調査するもので、今後、宮古広域公園（仮称）の整備や管理・運営に関して事業者を公募する際の評価の対象にはなりません。

(3) 対話参加に係る経費及び説明資料の提出

対面による対話の実施をご希望の場合、対話参加に要する費用（交通費等）は参加者の負担とします。また、参加者の負担軽減のため説明資料の提出は求めませんが、必要に応じてご準備いただいても構いません。

(4) 対話実施の担当者

対話は、沖縄県土木建築部宮古土木事務所都市港湾班の職員のほか、宮古広域公園（仮称）公募設置等指針検討業務を委託している日本工営株式会社の担当者が対話の場に同席することを想定しています。日程調整の都合により、どちらかのみとの対話になる場合もありますのでご了承ください。

(5) 追加対話へのご協力（依頼）

今後、より深く連携手法等を検討するにあたり、追加対話やメール質疑を行うことがありますので、その際にご協力をお願いします。

(6) 参加除外要件

沖縄県暴力団排除条例第2条に規定する「暴力団」又は「暴力団員」に該当する者及び、沖縄県暴力団排除条例第13条～第17条の規定に違反する者は、対話の参加者として認めないこととします。

(7) 実施結果の公表

対話の実施結果については、概要を沖縄県ホームページに公表します。ただし、参加者の名称は公表しません。また、公表にあたっては事前に参加者に公表内容を確認します。

(8) その他

対話への参加者数や参加者の業種・業態等に応じて、今回の対話に参加された会社以外にも、宮古土木事務所・日本工営から個別に対話を依頼することがあります。

3. 申込先・連絡先

日本工営株式会社 都市空間事業統括本部 PPP室

所在地：〒102-8539 東京都千代田区麹町5-4

担 当：片山、中嶋（業務受託者）

電 話：03-5276-2133

Eメール：ml-miyakopark-r2@bx.n-koei.co.jp